

5 . 政府が日本経済に果たす役割

(教科書)

第3章 日本の経済政策

第4章 財政の仕組みと機能

・ 政府は何をやっているのか？

古典的機能

() () () ()

()

社会保険制度 年金、医療、雇用など

社会資本整備

() () () ()

・ どこまで政府がやる必要があるのか？

・ 資本主義と社会主義

アダム・スミス

「神の見えざる手」

「夜警国家」



マルクス

生産手段の私的所有を否定

経済計画



ソ連、東欧の社会主義の崩壊

・ ケインズ経済学

1920年代の恐慌を教訓とした経済学

経済活動に対して政府の果たす役割は大きい 「大きな政府」

政府の活動する場を広げよう 準公共財

() () ()

・「小さな政府」への回帰

第一次オイルショック後、ケインズ経済学への疑問

推進した首相・大統領は？

イギリス ()

アメリカ ()

今もこの流れが続く

・政府の活動資金はどうやって調達されるのか？

< 税制 >

国や地方公共団体が、政府活動を維持するために徴収する

1 所得税 給料や利子などさまざまな所得にかかる

税率 () % から () % までの 4 段階

課税最低限 年間所得 () 万円

2 法人税 企業収益にかかる

法人税、事業税、住民税など企業収益にかかる税金を合わせた税率 (実効税率)

約 () %

3 消費税 消費全般にかかる

税率 () %

< 公債 >

国の歳出が税金でまかなえなくなったとき、金融市場に公債を発行してお金を調達する。

借金なので、金利をつけて返さなければならない。

国の公債 ()

地方自治体の公債 ()

税金が足りない！ 不景気、少子化

どこを増やすか？

消費税を 10% にするという意見もある。

所得税と消費税の違い。

少子高齢化の社会保障制度への影響

年金制度

- ・ 老後に備えてお金を国で貯めておく制度。
- ・ 国民年金 ()
- ・ 厚生年金 ()
- ・ 共済年金 ()
- ・

